

水稲「風さやか」栽培指針(平成30年版)

長野農業改良普及センター・JAながの ながの営農センター

	11月		3月		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
作業体系	堆肥施用	耕起			塩水選	種子消毒	浸種	催芽	播種	育苗管理(25~30日)	基肥施用	入水荒代	植代	田植え	初中期除草	生育診断	追肥	出穂期				収穫			
水管理									入水	浅水				中干し	間断灌水	深水	間断灌水				落水				
栽培管理	<p>「風さやか」の特徴：長野県農業試験場育成。 コシヒカリに比べ、出穂が4日、成熟期で7日程度遅い。倒伏・いもち病に強く、収量性が良い。過度な籾数増加をもたらす施肥は登熟歩合の低下や白未熟粒の増加及び食味の低下につながるのを避ける。</p> <p>～良食味・高品質米を目指して～</p> <p>1 基肥施用 多肥にすると、無効分げつ、くず米、未熟粒が増加する傾向にあるので、過剰な施肥はしないこと。 肥料名 基肥追肥一体型：スーパー水稲ロング 50~60kg/10a 基肥：BBC-284号 40~50kg/10a 上記どちらかを施用。 ☆堆肥を施用する場合、春施用すると、ガス湧きによる生育阻害が生じるので、基本的に前年の秋に施用し、耕起、分解を促進する。 ☆その他の有機物を施用する場合は普及センター・JAへ相談する。</p> <p>2 播種・育苗管理 ・一般の品種と同様に行う。</p> <p>3 田植え ・時期：6月中旬 遅れると適正穂数確保できないので注意する。 ・適正標高：600m以下 ・一般栽培に準じ、60株/坪植え、3~4本植えとする。コシヒカリより穂数が少ないので、極端な疎植(50株未満)は避ける。</p>											<p>4 病虫害防除 (1) 苗箱施薬：殺菌殺虫剤を必ず処理する (2) 病虫害防除：慣行どおりに防除を行うこと。</p> <p>5 水管理 ・田植え後ガス湧きが多い場合は、軽く干して酸素供給を行う。 ・幼穂形成期以降、低温時は深水管理を行う。</p> <p>6 中干し 無効分げつや遅れ穂の増加を防ぐため、有効茎数(2枚以上の葉をもつ分げつ)が23~25本程度になったら、中干しをする(約2~3mm亀裂が入る程度)。</p> <p>7 追肥 ・最高分げつ期(7月下旬)に生育状況を観察し、施肥時期と量を検討する。 ・基本施肥量と時期(スーパー水稲ロング使用の場合は、追肥不要)。 穂肥：BBNKC-707号 10~15kg/10a 出穂期25日前(幼穂形成期)</p> <p>8 収穫適期の判定 ・積算気温：1100℃以上とする。 ・帯緑色籾歩合：10~5%で収穫する ・刈取時期、搬入についてはライスセンターへ問い合わせ下さい。</p> <p>【目標生育モデル】</p> $60 \text{ 株/坪 (約18本/m}^2) \times 1 \text{ 株穂数 25本以下} \Rightarrow 1 \text{ m}^2 \text{ 穂数 400本} \times 1 \text{ 穂籾数 93粒} \Rightarrow \text{目標 1 m}^2 \text{ 粒数 約 37,000粒} \times \text{登熟歩合 82\%} \times \text{千粒重 22.6g} \Rightarrow \text{目標単収(1.85mm) 686kg/10a}$													

